府職労2013　新春のつどい

と　き　2013年1月10日（木）18時45分～

ところ　新別館4階　多目的ホール

＊クラリネット演奏（音楽家ユニオン）
＊お話　西谷文和さん（フリージャーナリスト）
＊落語　笑福亭竹林さん

西谷文和さん　吹田市役所勤務を経て、現在フリージャーナリストで「イラクの子どもを救う会」代表。2006年度「平和協同ジャーナリスト大賞」を受賞。テレビ朝日「報道ステーション」や朝日放送「ムーブ！」、毎日放送ラジオ「RadioNewsたね蒔きジャーナル」、TBSテレビ「イブニングニュース」などで戦争の悲惨さを伝えている。最近では府庁のWTC移転問題での住民訴訟や松井知事の政治資金法違反の告発人としても活躍。

府職労青年部 クリスマスパーティー　開催迫る！

と　き　2012年12月16日（日）　開始19:00（受付18:30～）
ところ　River Suite OSAKA（リバースイート大阪）
参加費　概ね4,000円以下（支部により金額が違います）

＊他職場職員（青年等）との交流会
＊クリスマスプレゼント争奪戦ゲーム
＊誕生日交流ゲーム（詳細は当日のお楽しみ！）

参加費に関しては支部担当及び下記アドレスに連絡ください。info@fusyokuro.gr.jp（府職労）

府職労 定例法律相談のご案内

顧問弁護士 **城塚健之** 先生

1月8日（火）午後2時～4時

府職労では、毎年6回、顧問弁護士による定例無料法律相談を実施しています。毎年1・3・5・7・9・11月の第2火曜日を予定しています。

1回、1人30分、4名をメドとしています。

◉相談の申し込みは、1月7日（月）午前中までに電話（06－6941－3079）で府職労本部福祉法制部まで申し込んで下さい。

＊なお当日は、相談時間の10分前には、府職労本部書記局までお越しください。

読者のつぶやき

小学生の娘になぜ沖縄で米兵による事件があるのか、と聞かれました。奥が深い質問で、うまく答えられなかったのですが、日本の中に基地があることに驚いていました。

クロスワードクイズ

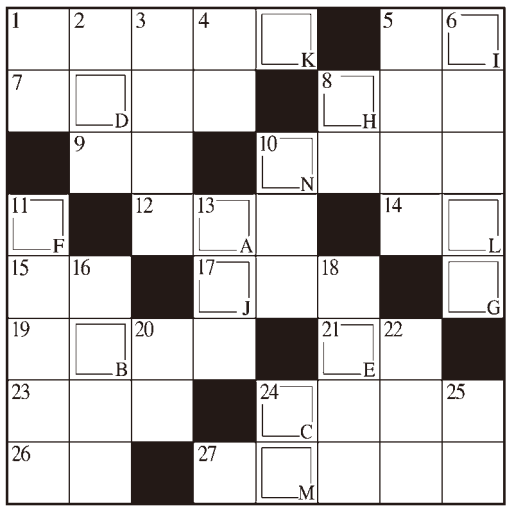
カギを解き、二重ワクに入る文字をアルファベット順に並べてできる言葉は何でしょう。

タテのキー♡

①赤組と○○組の歌合戦
②位置について――、ドン
③昭和30～40年代に流行した――喫茶
④腐っても○○
⑤――ここに極まれり
⑥建物等の雷よけ装置
⑧○○で押したような答え
⑩自転車の――に載せ運ぶ
⑪――兼備の女性
⑬夫婦
⑯長年の夢が――する
⑱故郷。――へ帰る
⑳阿波踊りなどのグループの単位
㉒電気――で洋服を縫う
㉔ほったて○○を建てる
㉕絶滅○○種

ヨコのキー◇

①幽霊の――見たり枯尾花
⑤公費の対。○○留学
⑦――にむち打って出馬
⑧なかば裸体
⑨それ○○、会っていない
⑩強い――力でやり遂げる
⑫かるたの――を並べる
⑭○○の上にも三年
⑮○○悪。○○を張る
⑰失敗を乗り越え――復活
⑲お先に――します
㉑○○、書き、そろばん
㉓未来を――する
㉔軟式の対
㉖漢字の○○読みと音読み
㉗耳飾り



【解　答】

クロスワード **11月号の解答と当選者**

答え＝政界ドタバタ劇にうんざり

当　選　者

松下　美行（枚方土木事務所）
近藤　哲哉（南部流域下水道事務所）
奥野　伸一（北河内府税事務所）
坂本美由紀（四條畷保健所）
上野　義弘（枚方保健所）

応　募　府職労本部まで
締め切り　12月25日（火）

正解者の中から抽選で**5人の方に図書カード（1000円分）**を進呈します。①解答②お名前③支部分会職場名④最近のできごとやメッセージを書いて、府職労本部まで、届けて下さい（はがき、メールやファックスも可）。当選者は、次の1日号で発表します。メッセージは、つぶやきに採用させていただくことがありますので、匿名希望の方は、その旨お書き添え下さい。

R100 古紙配合率100％再生紙を使用しています。

国民の願いに背を向けた野田首相が衆議院を解散し、12月16日投開票で総選挙が行われる。

なぜ、民主党政権が国民の支持を得られず、国民から見放されたのか。その検証抜きに、今後の政治のあり方を探ることはできない。しかし、マスコミ報道は、民主か、自民か、第三極か、があたかも焦点であるあるかのような報道に明け暮れてきた。最近、政策の違いやねじれ現象に対して報道されるようになってはいるが、あくまでも検証抜き、過去の政治への反省なき「政策」を論じるものでしかない。

国民のための政治こそ真に問われる争点に

政治とは何なのか。憲法前文には、「そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基くものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する」と明快である。

しかし、この憲法の精神を踏みにじり、「その福利を国民が享受する」どころか、それを奪ってきたことこそが大問題なのである。財界とアメリカの「既得権益」を守り、

「蟹工船―21世紀丸」物語②――20

始動する国民とともに

大阪自治労連副委員長　小山　国治

も、民主も、維新もそろって反対している。「経済に影響するから」というが、大企業が儲かっても労働者の賃金は上がらず、内部留保が増えるだけではないか。今後こそ逆さま政治を転換しよう。

労働者の働きなくして価値の増加はない

価値をつけ加えることによって価値を保存するということは、活動している労働力の、すなわち生きている労働の、一つの天資なのである。

（『資本論』第6章）

資本家が生産手段を所有し、原料を準備したとしても、労働者の労働なくして価値は増加しない。生産手段や資材の価値は生産物に転嫁（保存）されるだけで、価値を付け加えるのは労働者の労働だけである。

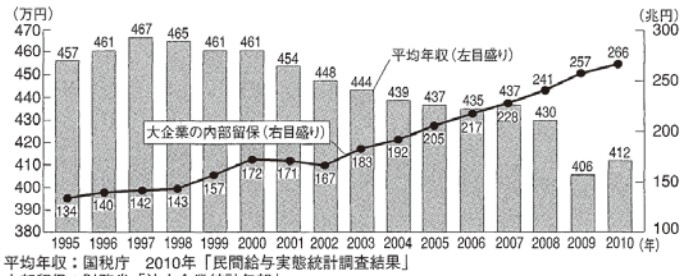
「経済成長」とは、労働によって価値を増加させることに他ならない。しかるに、財界や逆さま政治勢力は、価値を生み出した労働者の賃金を切り下げ、その分を財界の懐に入れ、内部留保を増やし続けている。

生産物を買うために労働力を売る労働者の賃金を引き上げることこそが、内需を拡大し、経済を活性化させる道である。今度の選挙でそんな方向に道を拓こう。

拡大しようとする政治。一方で国民の暮らしを支える権利を「既得権益」といって奪っている政治の転換こそが必要だ。

大企業への応分負担を求める声に対して、自民

●年収は大幅ダウン、反対に増え続ける大企業の内部留保



＊図は「学習の友」11月号